



まついむら

「自治交流」「健康福祉」「安心安全」「環境自然」「文化体育」

松井地区新年祝賀会で協議会活動の幕開け

1月8日(木)、松井まちづくりセンターホールにおいて、松井まちづくり協議会と松井地区新年祝賀会実行委員会の共催による「松井地区新年祝賀会」が開催されました。

藤本正人市長はじめ地元選出の県議会・市議会議員、松井地区で活動する自治会・町内会などのコミュニティ関係団体、民生委員・児童委員をはじめとする地域福祉関係団体、防災・防犯・消防等の安心安全関係団体、学校・PTA等の教育関係団体、地域公民館関係団体の役員など180名を超える出席がありました。

祝賀会は、まちづくりセンター掲揚台において、松井まちづくり協議会のシンボルである「松



井旗」の掲揚式に始まり、森田道昭実行委員長の開会の挨拶の後、安田敏男会長、同越阪部四一郎名誉会長の新年の挨拶が



藤本市長のあいさつ

ありました。引き続き来賓として出席された藤本市市長、水村篤弘県議会議員、地元選出の荒川広、越阪部征衛、安田義広、中村太、吉村健一各市議会議員の挨拶がありました。

続いて斎藤博所沢市体育協会長の乾杯の音頭により賀詞や情報の交換が始まり、美酒、おいしい料理をいただきながら、今年1年のいやさかを祈念しました。

地域づくり協議会情報交換会

1月21日(水)市内6地区で発足した「まちづくり協議会」の役員が出席して、「地域づくり協議会情報交換会」が市役所議会棟全員協議会室で開催されました。冒頭、藤本正人市長から「11地区の内、6地区においてまちづくり協議会ができた活動を展開していることに感謝します。設立までに苦労されたようですが、まちづくり協議会は市政進展にも大きく寄与すると確信しています。」との挨拶がありました。

活動事例発表で先頭を切った松井地区からは、安田敏男会長がパワーポイントを使用し、「松井では公募市民もいて、現在、文化歴史・自然環境遺産候補を公募している。又、松井は自治力と役

人力向上を目指している。」などと説明しました。続いて他地区からの発表がありましたが、それぞれ地域色を出した内容でした。休憩を挟み、後半は意見交換になりました。



交換会に参加した各協議会もスタートしたばかりで悩みも多く、方向性もこれからであり、情報交換とデータ共有の必要性を感じました。

具体的な活動に向け5部会会議を開催しました



自治交流部会（中村晴一部会長）



健康福祉部会（鈴木公子部会長）



安心安全部会（越阪部國昭部会長）

部会の事業提案」を協議しました。提案は自治交流が4件、健康福祉が10件、安心安全が14件、環境自然が1件、文化体育が2件の合計31件が出されました。この提案数から見ても、各部会の『やる気』や『前進力』が感じられます。これらの提案は、新年度の事業計画の素案となるもので、3月6日に開催された第3回役員会で、「予算の限り」があるものの、可能な限り実現に向けて、提案部会及び提案者への意向聴取などを含めて、具体的な部分の検討をしていく予定です。

**「地域の事業は、協議会旗の下に集い、
地域の人全員で成し遂げる」**

ことを目標に自治力と役人力向上を実践してまいります。

協議会では、これまでに松井地区自治連合会や松井まちづくりセンター協力会（旧松井公民館協力会）を中心に実行委員会で開催していた事業の内、「松井地区新年祝賀会」、「所沢市松井地区成人のつどい」を主催事業とし、「松井地区みんなで長生きを祝う会」、「松井地区文化祭」、「松井地区スポーツフェスティバル」、「松井ウォークラリー大会」を共催事業とすることとしました。

また、松井地区に残る文化歴史・自然環境遺産の認定や保存も事業として行っていきます。その他、地区住民の共助、共育、共学、共遊、共働の事業・関連団体と地区住民との間の共働及び情報共有事業・自治力及び交流力向上、一般市民の声を反映するために夏季セミナーや夏季交流懇談会事業を進めていきます。

これらの事業を具体的に推し進めるため1月29日、30日の両日、「自治交流」、「健康福祉」、「安心安全」、「環境自然」、「文化体育」の5つの部会会議が開催されました。まちづくりセンター職員が司会進行をつとめ、安田敏男会長と各部会長が挨拶し、出席者全員の自己紹介後、部会長が議長となり、上田之雄事務局長から役員会確認事項の報告、あらかじめ部会ごとに募集していた「各



環境自然部会（池田一美部会長）



文化体育部会（田村信男部会長）

所沢市松井地区成人のつどい

1月12日（月・成人の日）、松井まちづくりセンターホールにおいて、第68回『所沢市松井地区成人のつどい』が開催され、新成人293名が晴れやかに出席しました。

司会は主催者側から久保田千恵子さんと赤坂悦さん、新成人の永山翔滋さんと酒井奈津子さんがつとめ、森田道昭実行委員長が開式のことばを述べ、国歌を斉唱したあと、所沢市民憲章を新成人代表の阿部匡騎さんが唱和をしました。安田敏男松井まちづくり協議会会長が主催者あいさつで「ご成人おめでとう。生まれて20年、これからも生命を大切にしてください。425年前、徳川家康公が当地松井を



成人のつどい 式典



た話で、本当に素晴らしいものでした。

式には身障者の方も4名出席し、一番前の席に着席し、家族と共に成人を祝う姿に感動しました。

「成人のつどい」の運営には、司会者を始め新成人12名の方の協力参加を得て、素晴らしいものとなりました。

所沢市全体では、3,531名の新成人が誕生し、11か所ある行政区においてそれぞれ『成人のつどい』が開催されました。

新成人の皆さんには、この節目の年にあたり、心新たに大いに羽ばたき自分の人生を個性豊かに生きて行って欲しいと思います。

新成人の皆さん、おめでとうございます。

訪れたという歴史、航空発祥の地松井など誇りに持っていただける地域づくりに向けて松井まちづくり協議会は活動しています。人生の思い出をたくさんつくってください。」と門出を祝福しました。

また、所沢市を代表して大岩幹夫教育委員長がプロテニスプレーヤー錦織圭選手の活躍を引用した式辞を述べ、来賓を代表して長岡伸一東中学校校長が祝辞を述べました。

そして来賓の紹介では、県会議員、市会議員、越阪部四一郎松井まちづくり協議会名誉会長、学校長と続きましたが、恩師2名を紹介したところでは一段と大きな拍手と歓声がわき起こりました。

新成人代表のあいさつは、若目田寛昂さんが東日本大震災や原発事故のボランティア体験を交え



成人のつどい 交流会

こんな活動もすでに始めています

松井地区には現在、自治連や民生委員などの各種団体はじめ、多くのボランティア団体、文化交流サークルがあり、それぞれが目的に向かって活動しております。幸いなことに、松井地区には豊かな経験を積んだ先輩も多く、熱くボランティア活動に燃える組織団体のトップリーダーが大勢います。その英知を結集し、マンネリズムの無駄

を省き、団体の既得権益を守るのではなく、新しい有意義な活動プランに挑む「協議会」を推し進めるための一つの方法として、共に行動することや情報の共有があります。具体的な活動が始まる平成27年度に向けて、協議会はすでにいろいろな事業を通して行動しています。その一例を紹介します。

所沢市みどりのふれあいウォーク



平成26年11月29日(土)、所沢市及び西武鉄道共催の「所沢市みどりのふれあいウォーク」に『松井まちづくり協議会』チームとして参加しました。所沢駅東口西武鉄道本社前を出発、松井地区を縦横断するコースを、折悪しき雨にも負けず全員完歩しました。

ゴールの後は、航空公園駅のお店で昼食会を開き、完歩の喜びやそれぞれの団体間の情報交換を行いました。

松井まちづくり協議会視察研修会



12月17日(水)、松井まちづくり協議会の視察研修会が実施されました。協議会役員はじめ構成団体の皆さんが多数参加しました。

碓氷峠旧信越本線めがね橋及び富岡製糸場を見学しましたが、めがね橋では大雪の後の積雪の中で、皆さん大変寒そうでした。

昼食の時や行き帰りのバスの中では、参加者同士和気あいあい、めがね橋や製糸場の往時をしのんだり、情報交換を行っていました。

皆様からの文化歴史遺産・自然環境遺産候補の応募状況

松井地区に数多く残る文化歴史遺産や自然環境遺産を、松井まちづくり協議会の事業として認定していく予定です。募集期間中に皆さまから多数の応募をいただきました。

その応募状況をお知らせします。

歴史建造物・神社仏閣などの文化歴史遺産候補 20件19項目

樹木林・耕作地などの自然環境遺産候補 14件12項目

たくさんのご応募いただきありがとうございました。

協議会事業・活動予定

2月26日(木)	広報委員会	7月4日(土) 午後1時	協議会定期総会
3月6日(金)	第3回役員会議	午後2時	協議会夏季セミナー
3月中旬	広報紙まついむら第2号発行	午後3時半	夏季交流懇談会
6月6日(土)	平成27年度第1回役員会議		松井まちづくりセンターホール

編集後記

単に協議会の主催や共催行事、構成団体の行事や活動などの記事を書き載せるだけなら面白味がない。掲載する記事を通じて協議会の考え方、関わり方、方向性などを皆さんにお伝えしなければならない。そして「皆さんの協議会ですよ」を宣伝しなければならない。今号は如何でしょうか。